

令和8年度 府立丹波支援学校 学校経営計画（スクールのマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
目指す学校像 ① 豊かに生きる力をつける学校 ② 好きなこと・得意なことを生かす学校 ③ 地域に信頼され貢献する学校 ④ 和やかに働き甲斐をもって働ける学校 テーマ 「つかう つながる 創り出す」 を 丹波から	○考え判断し表現する場の設定 ○児童生徒の好きなことや得意なことを生かした教育実践の展開による意欲の向上 ○教育課程検討会議において時程や学級編制等について検討を進めR8年度に実施 ○水害についてPTAと高等部生徒が共学 ○分かって動ける環境づくりや業務改善に成果 ▲自立活動の充実にむけて検討 ▲学校全体の生徒指導の充実	①「好き」や「得意」を大切にしながら、可能性を引き出し生きる力・働く力をつける授業づくり ②子どもたちが安心安全に過ごすための環境整備と指導 ③地域や社会とつながったり貢献したりする気持ちの育成と児童生徒の頑張りやよさの発信 ④ 誰もが分かって動ける環境づくりと和やかで働き甲斐をもって働ける職場づくり

	評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
運 営	業務改善	行事・会議・校内体制の見直し	校外学習を始め行事や学習内容の在り方を見直す。会議等の回数の見直しや校内組織体制の整理を行う。		
		メリハリのある働き方を工夫	合理的に仕事をし、効果的な休養をとる。		
		目標の共有と協力と協働できる教職員	「児童生徒のために」という共通の思いを共有し、一致した指導を目指す。		
		コミュニケーションによる和やかな人間関係	日頃から挨拶や会話を交わし、感謝と助け合いの気持ちを言葉と行動に表す。		
教 育 課 程	教務部	学習指導要領に則った授業計画、授業実践の推進と、個別の指導計画の統一様式のより良い活用	研究部や自立活動部と連携して授業研や研修会を企画・設定する。個別の指導計画の統一様式の利点、改善点を整理して共有してより良いものにする。		
		研究部	根拠のある学習を構築するため、つけたい力の視点を入れた、つかえる新単元計画シートの普及	全学部研を中心に、教科の内容を意識できるよう新単元計画シートを広め、教務部や自立活動部と連携しながら、教育実践の質的向上を図る。	
	自立活動 生徒指導	自立活動6区分27項目の視点から指導者間で中心課題を共有し、教育活動全体を通じて関連的な指導	実態把握や目標、指導内容の設定に「流れ図」等のツールを活用して中心課題を共有し、学習面と生活面を相互に関連づけて、指導・支援を行う。		
		生徒指導	自立と社会参加に向けて、日常生活全	社会的場面に応じた身だしなみや行動を自ら考	

学 習 指 導		般における安全教育を推進	え実践する力を育成する。		
		一人一人の人権が尊重される集団づくり	暴言や暴力が相手の心身を傷つける行為であることを理解し、自ら行動を振り返る力を育てる。		
	健康安全	学校生活全般を通して健康・安全・衛生面に対する全教職員の意識の向上	校内の清掃や環境整備等の実施を徹底し、学校全体の学習環境の整備に対する意識の向上と児童生徒の安全に努める。		
	進路指導	全校生徒の実態を把握し、早期に課題と向き合い見通しをもった進路指導	担任、寄宿舍、保護者と連携して、児童生徒の実態を把握し、関係機関と将来的な進路課題を情報共有し、進路実習など進路実現に向けた学習を進める。		
	各 部	小:授業改善、授業力の向上、系統的な教育課程の編成及び検証(小)	個別の指導計画作成、年間指導計画の整理・検討を進める中で、学習指導要領を参考に、教科の視点を持った授業づくりや教育課程、年間指導計画、単元計画等の整理を行う。		
中:「好き」を見付け、「できる」を増やし、人や社会とのつながりの中で付けた力を発揮できる活動の充実		教科や自立活動の視点を持ち、個別の指導計画に基づいた授業実践を学部全体で意識的に進めるとともに、学部を越えた人や地域の方との関わりの中で、付けた力を生かす場面を積極的に設定していく。			
高:「好き」や「得意」を生かしながら、地域や社会とつながり、挑戦・活躍する生徒の育成		学校の内外で自分の力を試したり、貢献したり更なる高みに挑んだりする機会を積極的につくる。			
寄:安心安全で豊かな生活の実現		家庭や地域での過ごし方を含め、将来につながる「めざす像」を明らかにする。			
地域連携	地域支援	インクルーシブ教育に向けての地域支援センターの在り方の模索と人材育成	京都府インクルーシブ教育システム推進の視点で圏域の専門性向上に寄与。発達障害のみならず、肢体不自由、重度重複障害が主訴となる相談等、職員の専門性を生かした相談活動を行う。		

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善の 方向性	
-----------------------	--